

皿倉登山鉄道株式会社

皿倉登山鉄道株式会社

I 法人の概要(令和7年4月1日現在)

1 所在地

北九州市八幡東区大字尾倉 1481 番地の 1

2 設立年月日

昭和 32 年 3 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 福本 啓二

4 資本金

10,000 千円

5 北九州市の出資金

10,000 千円(出資の割合 100.0%)

6 役職員数

		人 数			
		合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員		8 人	0 人	1 人	7 人
	常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
	非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職 員		8 人	0 人	1 人	7 人

7 団体のミッション

民間の強みを活かして皿倉山の魅力を最大限に発信し、観光振興の中核を担う。収益性の高い運営と人材育成により、質の高いサービスを提供し、来訪者増加と地域活性化に貢献する。

II 令和6年度事業実績

当社は、皿倉山においてケーブルカー及びスロープカー施設を市から借り受けて運行しており、皿倉山頂展望台の管理運營業務等を市から受託している。

令和6年度の運行日数は289日、運行率は95%となり、山上駅耐震補強等工事、大雨や積雪に伴う臨時運休日数は14日だった。

スロープカー乗客数が、平成19年12月の開業から16年をかけて5月4日に300万人を達成した。

また、市事業の「KitaQ おもてなしキャンペーン」や「ウェルカム北九州!」キャンペーン、外国人旅行者向け電子チケットで観光施設・グルメ・ショッピングに利用できる「楽しい北九州・下関パス」「楽しい日本パス」などに参加した。

一方、市事業により、山上駅の外壁改修や耐震補強、山頂斜面地の「絶景の遊び場」の新設などが行われ、訪れる人の満足度向上に向けた施設環境の整備が引き続き図られた。

1 輸送人員

年間で雨の日が少なく天候に恵まれたこと、「日本新三大夜景都市」第1位連覇の効果、外国人観光客が大きく増加したことなどにより、輸送人員は55万5,000人で、前期比10万4,000人、23%の増と大きく伸びた。

2 営業損益

営業収益は、1億9,404万円、営業費は1億6,645万円で、営業損益は2,759万円(前期比2,747万円増)と6年ぶりに2千万円を超える黒字となった。

3 経常損益

上記営業損益に営業外損益を加えた当期の経常損益も、2,921万円(前期比2,768万円増)の黒字となった。

4 当期純損益

上記経常損益から特別損失や法人税等を差し引いた当期純損益も、1,898万円(前期比1,770万円増)の黒字となった。

Ⅲ 令和 6 年度決算

1 貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	156,655,330	流 動 負 債	60,743,718
現 金 及 び 預 金	119,794,316	買 掛 金	2,160
未 収 運 賃	1,293,760	一年内返済予定長期借入金	5,100,011
未 収 入 金	30,609,831	未 払 金	5,207,798
商 品	633,228	未 払 費 用	33,339,549
貯 蔵 品	4,253,150	仮 受 金	105,100
前 払 費 用	59,400	未 払 法 人 税 等	9,658,200
立 替 金	11,645	未 払 消 費 税	5,195,900
		賞 与 引 当 金	2,135,000
固 定 資 産	48,006,670	固 定 負 債	21,812,008
鋼索鉄道事業固定資産	17,903,932	長 期 借 入 金	20,600,008
その他事業固定資産	8	退 職 給 付 引 当 金	1,212,000
投資その他の資産			
投資有価証券	30,000,000		
出 資 金	10,000	負 債 合 計	82,555,726
長 期 前 払 費 用	92,730	(純 資 産 の 部)	
		株 主 資 本	122,106,274
		資 本 金	10,000,000
		利 益 剰 余 金	112,106,274
		その他利益剰余金	112,106,274
		繰越利益剰余金	112,106,274
		(うち当期純利益)	(18,984,816)
		純 資 産 合 計	122,106,274
資 産 合 計	204,662,000	負 債 ・ 純 資 産 合 計	204,662,000

2 損 益 計 算 書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
鋼 索 鉄 道 事 業		
営 業 収 益	129,315,491	
営 業 費	141,724,459	
営 業 損 失		12,408,968
そ の 他 事 業		
営 業 収 益	64,728,242	
営 業 費	24,728,885	
営 業 利 益		39,999,357
全 事 業 営 業 利 益		27,590,389
営 業 外 収 益		1,772,346
受 取 利 息 及 び 配 当 金	110,610	
雑 収 入	1,661,736	
営 業 外 費 用		144,822
支 払 利 息	107,799	
雑 支 出	37,023	
経 常 利 益		29,217,913
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益		—
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損		557,952
税 引 前 当 期 純 利 益		28,659,961
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		9,675,145
当 期 純 利 益		18,984,816

Ⅳ 令和 7 年度事業計画

令和 7 年度においても、安全運行の徹底を基本としつつ、さらなる利用者サービスの向上や集客対策に努め、皿倉山の観光振興ひいては北九州市の観光振興に寄与できるようケーブルカー・スロープカーの運行に努めることとする。

1 運行計画

運行日数 302 日(休日 117 日、平日 185 日)

※休日は、日曜、土曜、祝日休日及び 1 月 2 日

運休日数 63 日(火曜日 46 日、定期点検 5 日、大規模メンテナンス 12 日)

運行時間 4 月～10 月 10:00～22:00(上り最終 21:20)

11 月～3 月 10:00～20:00(上り最終 19:20)

2 安全運行の遵守

ケーブルカーの安全運行や長寿命化を図るため、電気設備の「予防保全」に努めるとともに、安全目標のもと業務マニュアルの遵守、車両や運転施設のきめ細やかな点検・整備を日常の業務において実践する。

3 利用者数と運輸収入の目標

「日本新三大夜景都市」第 1 位連覇の効果や好調に推移する外国人観光客の増加などから、ケーブルカーの利用者数は 29 万人、運輸収入(ケーブルカーとスロープカーの合計)は 1 億 4,400 万円を目標(令和 6 年度比 3%増)とし、これにより 4 年連続の当期損益の黒字を目指す。

4 集客対策

(1) イベント等企画事業

例年通り、ゴールデンウィーク、サタデーナイト、中秋の名月、クリスマス及びバレンタインの各ライブや天体観測会、屋外バーベキュー、星空ビアガーデンを開催する。

また、利用者へのおもてなしとして、七夕飾り、紅葉ライトアップ、クリスマスイルミネーション飾りなど季節ごとの飾り付けを行う。

イベントや営業情報について、ホームページや SNS を活用し、積極的に情報発信をする。

(2) 市観光施策等との連携

市観光課の観光施策への参加はもとより、旅行会社や市内のホテル・宿泊施設との連携、市内小学校を中心に校外学習先の誘致活動に積極的に取り組む。

(3) 新たな電子チケット販売の展開

・外国人観光客対象の「JTR PASS 楽しい北九州&下関パス」の利用施設として参加する(令和 7 年 3 月 13 日～発売開始)。

- ・北九州市内 JR 乗り放題と観光施設の入場や飲食店割引のセット券を VISA タッチで決済する実証実験の「北九州周遊パスタッチ九州」に参加する（一般社団法人九州観光機構、令和 7 年 7 月発売予定）。

5 その他

- ・観光案内サインやケーブルカーの車内放送について、外国人観光客の増加を踏まえた総点検を行い、その見直しや多言語化について検討を進める。
- ・山麓駅に IT 導入助成金を活用した「POS レジ」を導入し、キャッシュレス決済で煩雑になったレジ業務や販売精算業務の効率化を図る。

また、令和 6 年度は見送った山麓駅の「券売機」について、キャッシュレス対応の「高機能券売機」への更新を行う。

V 令和7年度予算

予定損益計算書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日（単位：千円）

科 目	金 額
営 業 収 益	180,410
ケーブルカー営業収入	95,589
スロープカー営業収入	48,409
受託事業収入	31,112
その他営業収入	5,300
営 業 費 用	161,610
人件費	103,617
動力費・油脂系屑費	2,990
修繕費	19,000
広報宣伝費	2,747
委託料	9,993
備消耗品費	4,388
水道光熱費	8,184
減価償却費	2,223
その他営業費用	8,468
営 業 利 益	18,800
営 業 外 収 益	1,600
営 業 外 費 用	170
経 常 利 益	20,230
特 別 利 益	—
特 別 損 失	—
税 引 前 当 期 純 利 益	20,230
法人税、住民税及び事業税	5,695
税 引 後 当 期 純 利 益	14,535

Ⅵ 役員名簿等

1 役員名簿

令和7年7月1日現在

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役	福 本 啓 二	
専務取締役	欠 員	
取 締 役	小 杉 繁 樹	北九州市政策局長
〃	武 田 信 一	北九州市財政・変革局長
〃	森 川 洋 一	北九州市都市ブランド創造局にぎわい担当理事
〃	持 山 泰 生	北九州市都市整備局長
〃	喜 洲 淳 哉	北九州市八幡東区長
監 査 役	小 島 庸 匡	公認会計士
〃	井 上 美 紀	北九州市都市ブランド創造局観光にぎわい部長

2 市との特命随意契約の状況（令和6年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち政策連携団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
皿倉山地区 等観光来訪 者対応業務	18,834	参加者の有無を確認する 公募を実施した結果、参加 意思を表明するものがい なかったため。（令和6年 3月実施）	館内清掃 （日常清掃及 び定期清掃）	1,289	エヌ・ク リーン株 式会社	随意契約 （見積合 せ）	
			浄化槽保守	420	株式会 社 梶組	随意契約 （特命）	寒冷差が大きい環 境で、夜間を含め臨 機応変に緊急対応 できる能力を有す るため。
			昇降機設備 保守	1,332	ダイコー 株式会社	随意契約 （特命）	対象設備の技術情 報を保有する同社 しか、速やかな故 障等への対応がで きないため。
			自家用電気 工作物保守	432	中原電 気管理 事務所	随意契約 （特命）	他の電気動力設備 の保守管理と一体 的に実施すること で、円滑な業務の 実施が可能である ため。
			消防設備保 守	60	株式会 社 東和防 災システ ム	随意契約 （特命）	専門知識・技術を 要するため。
			空調設備保 守	160	スガハラ テクノ株 式会社	随意契約 （特命）	寒冷差が大きい環 境で、夜間を含め 臨機応変に緊急対 応できる能力を有 するため。
皿倉山山頂 展望台トイレ 改修工事に伴 う仮設トイレ 設置業務	4,396	皿倉山施設を管理・運営し ている皿倉登山鉄道（株） と同じ指揮命令系統の もとで管理し、作業を進 めていく必要があるため。	仮設トイレ 設置業務	4,396	大洋装 備株式 会社	随意契約 （特命）	専門知識や技術が 必要であるため。
皿倉山山頂 施設照明等機 能改善業務	1,500	皿倉山施設を管理・運営し ている皿倉登山鉄道（株） と同じ指揮命令系統の もとで管理し、作業を進 めていく必要があるため。	照明等機能 改善業務	1,410	株式会 社 ミナミ 電器産 業	随意契約 （特命）	法令等による専門 知識や技術を要し、 電気工事を実施す るための専門的な 設備・施設が必要 であるため。
皿倉山ケー ブルカー軌 道周辺支障 木伐採及び 剪定業務	994	軌道周辺での伐採は安全 上の問題から、ケーブル カー運休時にしか作業で きないため、ケーブルカ ー運行者である皿倉登 山鉄道（株）と同じ指 揮命令系統のもとで 管理し、作業を進め ていく必要があるた め。	ケーブルカ ー軌道の安 全の支障と なる樹木の 伐採及び剪 定業務	994	北九州市 森林組 合	随意契約 （特命）	専門知識や技術が 必要であるため。

皿倉山ケーブルカーオーバーホール等業務	19,118	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加意思を表明するものがいなかったため。(令和6年3月実施)	皿倉山ケーブルカーの製作・納入業者のみ履行可能な機器分解等の現場的業務	12,793	日本ケーブル株式会社	随意契約(特命)	同社が製作・納品したケーブルカー施設で、業務実施にあたっては特殊な専門知識や技術が必要とし、また、作業を実施するための専門的な設備・施設も備えている唯一の業者であるため。
			皿倉山スロープカーの製作・納入業者のみ履行可能な機器分解等の現場的業務	6,325	日鉄テックスエンジニア株式会社	随意契約(特命)	同社が製作・納品したスロープカーで、業務実施にあたっては特殊な専門知識や技術が必要とし、また、作業を実施するための専門的な設備・施設も備えている業者であるため。
帆柱自然公園及び皿倉登山道維持管理業務	3,527	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加意思を表明するものがいなかったため。	登山等の巡視、ボランティアの育成及び帆柱自然公園利用者への指導等	500	特定非営利法人帆柱自然公園愛護会	随意契約(特命)	同団体は、帆柱自然公園ないにおいて、日常的に自然公園や動植物の保全・保護活動を行っている。その時々、現地の状況を熟知しており、連携した明確な巡視・通報、指導が可能であるため。
			GW期間の表登山道入口通行止めにかかる警備及び誘導業務	864	安全警備株式会社	随意契約(見積合せ)	
			帆柱自然公園初日登山等警備業務	464	安全警備株式会社	随意契約(見積合せ)	
皿倉山ケーブルカー軌道監視カメラ用修理交換業務	146	ケーブルカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)の指揮命令系統のもとで管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
皿倉山頂展望台浄化槽ポンプアップ清掃業務(試行)	150	皿倉山施設を管理・運営している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもとで管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
皿倉山スロープカー不具合調査対応業務	451	スロープカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)の指揮命令系統のもとで管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
皿倉山スロープカー絶縁補修業務	671	スロープカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)の指揮命令系統のもとで管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				

皿倉山ケーブルカー軌道監視カメラ用レコーダー修理交換等業務	151	ケーブルカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)の指揮命令系統のものと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし		
合 計	49,938		合 計	31,439	